

# 映像で見る「懐かしの越谷」

日時：平成19年(2007)6月24日(日) 午後1時30分～3時  
場所：越谷市産業会館(商工会) 越谷市中町7-17 旧街道沿い  
参加費：無料  
解説：越谷市郷土研究会 常任顧問 高崎 力

## 越谷市記録映画「こしがや」

昭和46年・越谷市広報課/製作

昭和46年11月16日 朝日新聞紹介記事「田園都市一ベッドタウン」「移り変わる越谷を紹介」

カラー16mmフィルムを色の劣化が激しくDVDモノクロに転換

### ショット\解説

#### 1. 白子鳩(シラコバト)

江戸時代に日本に入り、戦後は越谷付近のみに生息し、色は灰褐色。頸に頸輪状の太い線模様の特徴。足は黒っぽい。声はポポッポーをくりかえす。昭和31年(1956)国の天然記念物に指定。昭和40年(1965)11月 “県民の鳥”に制定 昭和63年(1988)11月 越谷“市の鳥”に制定

#### 2. ムクドリ

#### 3. 越谷一带は野鳥類繁殖地として有名。(宮内庁御猟場がある)

#### 4. 越谷高等学校のボート部

越ヶ谷高等女学校時代に部を結成し、昭和38年(1963)全日本高校ボート大会で優勝している。

#### 5. 久伊豆神社の秋祭り

かつては“越ヶ谷のバカまつり”といわれた程の祭礼で、当時は9月28日の例大祭には各町内持の山車八台が町内を巡行した。

#### 6. 元荒川の平和橋

もとの平和橋は瓦曾根溜井の曲流部にあったが、現在では市役所近くに移転。

7. 昭和44年（1969）新庁舎は元荒川、埋立地に開設した。

#### 8. 葛西用水

昭和22年（1947）9月の台風により市域は大洪水となり、それまで天嶽寺横で合流していた元荒川と葛西用水の流れを分断し、葛西用水は元荒川の下をトンネルで流れ、市役所の横を流れるようになった。

#### 9. 越谷の人口

昭和29年（1954）2町8か村合併の後に、昭和30年（1955）、川柳地区の3地区を編入時点で人口は46,838人

#### 10. 地下鉄日比谷線

北越谷駅に乗り入れる 昭和37年（1962）5月 地下鉄日比谷線（始発駅／人形町駅）武州大沢駅に乘入れて、駅名を“北越谷駅”と改称する。

11. 地下鉄日比谷線が乗入れてより人口の増加は加速した。

#### 12. 大型スーパーの進出

最初は北千住四号国道にあった「丸愛」が越谷駅前通り駅寄りに進出し、東京の商品が越谷で購入できると大繁盛した。

13. 越谷特産の「太郎兵衛糶」は、慶長年間（1610年頃）四丁野村（現・宮本町）の名主・会田太郎兵衛が作出し、以後出羽地区で改良が加えられて日本一の高価な糶米となる。江戸城内で食べられたのは越谷糶の一種“御膳細糶”です。

#### 14. 養鶏

一時、越谷地域のバタリー式養鶏は全国に知られて見学者も多かったが、悪臭などの問題が発生した。

#### 15. 花卉

今でも荻島・増林などでは盛んに栽培されている。

#### 16. 公害

(1) 車道 車両の増加による排気汚染

(2) プレハブ教室 暑さ寒さと騒音換気に悩まされた

(3) ゴミの増加 ゴミ収集、区域が市内全域になったのは昭和45年（1970）10月からです（前年にゴミ収集無料化）

(4) 下水と用水 水田耕作地までゴミや悪水が流れ込む

#### 17. 都市計画

- (1) スポーツ公園を新設する
- (2) 大沢北小学校の開設
- (3) 市立体育館

18. 北部浄水場 昭和33年(1958)久伊豆神社西側に越谷浄水場が初めて完成(1.4万人対応)。昭和44年(1969)下間久里新田に北部浄水場が完成(13.9万人対応)。昭和49年(1974)に江戸川築比地に浄水場が完成し、利根川の水を引水する。(市全域)

19. 下水処理場

20. ゴミ収集車へ地域住民の協力。

21. 市立病院は、昭和49年(1974)建設着工し、51年(1976)完成。

22. 越谷市消防署は、昭和34年(1959)10月、大沢小学校跡地に建設し、昭和42年(1967)には改築完成した。TV塔付。

23. 交通指導

24. 南からの瓦曽根景観

瓦曽根にあった横断歩道橋と道路を横断する市の横断広告は今現在は撤去されていない。

25. 給食センター 昭和44年(1969)、市立第一給食センターが増林(市立病院の近く)に完成。昭和49年(1974)には、第二給食センターが大杉に完成する。

26. 保育所 昭和42年(1967)県内でも初といわれる市立乳児保育所が越ヶ谷に開設される。

27. 県立青年の家 昭和46年(1971)6月、県立越谷青年の家が増林に開設。

28. 市民体育祭 昭和29年(1954)11月2日 8か村が合併したので翌30年(1955)11月に第1回町民体育祭が開催され、市制になり「市民体育祭」となる。当初は合併以前の町村対抗競技であった。

29. 国鉄武蔵野線の開通 当初は国鉄貨物を都内から締め出す目的で構想されたが、土地提供住民等の希望で電車を通すことになり、昭和48年(1973)4月開業。車両は国鉄中央線の古。

30. 第2代市長 島村平市郎氏の施政方針演説 島村平市郎2代目市長  
昭和45年(1970)11月2日～48年(1973)10月10日

31. 締めくくり “水と緑と太陽に恵まれた越谷市”

32. 市民マラソン大会

# 越谷市記録映画 「明るい明日をめざして」

昭和48年・越谷市広報課／製作

昭和48年4月13日 毎日新聞紹介記事 「越谷のPR映画クランクイン」

カラー16mmフィルムを色の劣化が激しくDVDモノクロに転換

## ショット\解説

1. 北越谷の桜 昭和31年(1956)、越谷商工会の有志らが北越谷を取り巻く元荒川土手に桜の苗1200本植樹。その後、宮本町・神明町側の桜は交通の妨げになるとして伐採された。
2. 菜の花 特に見事なのは増林地区内の古利根川の土手です。
3. レング草 新方地区の大吉の休耕田などです。
4. 久伊豆神社の藤 幕末の国学者平田篤胤ゆかりの藤といわれ文化年間(1810年頃)流山から移植されたといわれている。県指定天然記念物。
5. 鯉のぼり 5月の男子の節句の時は見られましたが、住宅環境の変化で激減した。
6. 田植歌 田植の頃はそちこちの田から唄が聞こえたが、機械化に伴い失ってしまった。  
〔歌詞〕ヤーレ 十七、八は一 ナ、ヨホイ  
はじめて田をよ 苗を植えたヨー  
(全員で) アー 植えてシャレ 植えてシャレ ※シャレとは下がれの意
7. 水車 足踏み水車から動力を使ったパーチカルになり、今では見る事ができない。
8. 下間久里の獅子舞 埼玉県無形民俗文化財。埼玉東部の獅子舞は越谷市間久里の獅子舞が大元で伝授されたものである。映像はダンナ様といわれた藤田家(集落の中心地にあり)での踊り風景。
9. 虫追い 埼玉県指定無形民俗文化財。北川崎の虫追い。市内虫追いの記録では西方村(現・相模町)の寛政3年(1791)の記録があるが、火災予防等から止めた地域が多い。
10. 花火大会 戦前は大沢橋付近で打ち上げられたこともあったが、その後長く中断し、昭和47年(1972)8月、市役所わきの元荒川土手で、復活花火大会が開催された。

- 1 1. 藤助河岸 江戸時代から続く河岸場で、大正2年(1913)には、武陽水陸運輸(株)が東武地区一帯の荷を一手に繁昌し、後に越ヶ谷停車場新設の約定から東武鉄道が荷扱いを開設するまで盛んに荷扱いをした。
- 1 2. 二・七の市 大沢橋畔に市神社があり、越ヶ谷は2と7のつく日(月6回)市が立った。
- 1 3. 越谷の玩具 船渡の松崎さんでは、亀戸の天神様で売られる張子玩具を代々作っている。
- 1 4. 浄山寺の鰐口 児玉郡に同じ鋳型で鋳造したと思われる鰐口がある。
- 1 5. 富士山と藁ボッチ 藁を乾燥させるため立木に積み上げている。
- 1 6. 国鉄武蔵野線 昭和48年(1973)4月開通。南越谷駅開業。東武鉄道は翌49年(1974)7月、新越谷駅を開業する。
- 1 7. 国鉄貨物ターミナル 南越谷の流通団地に接して国鉄貨物ターミナルを建設した。
- 1 8. 駅の利用状況
- 1 9. 草加バイパス 昭和42年(1967)12月 四号国道草加バイパスが開通し、旧四号の渋滞は解消した。
- 2 0. プレハブ校舎 都市開発により人口増加し、学校は児童数の急増で校舎建築が追いつかないので一時しのぎのプレハブ校舎が各校に造られた。
- 2 1. 蒲生地区の塗料工場 工業化の進んだ南部の蒲生地区の旧四号国道一帯で公害問題が発生し始めた。
- 2 2. 蒲生地域の工業群 瓦曾根の旧四号、新吉川道一帯に工場群が林立した。
- 2 3. 瓦曾根～市役所
- 2 4. 公害発生 川魚の死。元荒川辺の工場から汚水が流出して下流では魚の死がいがあったところで見られた。川水は青い色で臭気があった。藻も消失した。これら汚水は夜間に放流したようである。
- 2 5. 新設学校の地盤沈下 市の周辺部、川跡の軟弱地盤では地盤沈下を起こし、建物等に被害がでた。
- 2 6. 光化学スモッグ発生 晴れて無風の日などに、光化学スモッグが発生し、児童が養護室だけではならず、体育館で横になった。
- 2 7. 用途地域の指定 南部の整理事業が進捗し、南越谷小学校の新設へ進む。

## 28. 下水道工事は2年目へ

## 29. 北越谷小学校の新設

大沢北小のマンモス解消のため北越谷小学校は用地確保で混乱したが、昭和48年（1973）7月に北越谷公園の一部を残して校舎を建設し、夏休みも利用して児童は自分の椅子や荷物を大沢北小から北越谷小へ運んだ。

## 30. 少年野球風景

## 31. 公民活動 中村音楽教師の合唱指導

## 32. 黒田市長の誕生

昭和48年（1973）11月12日～52年（1977）11月10日 第3代市長となる。

## 33. みのり学園 昭和46年（1971）4月 精神薄弱児通園施設「みのり学園」が袋山に完成。

## 34. 病院待合室

急速なる人口増に伴い乳幼児病院、医師等が不足、ここ越谷本町の桃木診療所でも長時間待たされる。

## 35. 国民健康保険発祥地 越ヶ谷町

越ヶ谷町では、全国になかった町民自身で組織運営した健康保険組合として昭和10年（1935）「越ヶ谷順正会」を発足した。昭和13年（1938）には順正会は国民健康保険指定組合となる。

## 36. 越谷市立病院の建設 一番杭を打つ

一番杭は昭和49年（1974）3月。完成は昭和50年（1975）11月14日。発足時の規模、地下1階、地上8階。ベッド300床、医師50名、看護婦200名。

## 37. 緊急処理センター設立

## 38. 桜の植樹 花壇

## 39. 市民体育祭

## 40. 太郎兵衛もち

戦時中の“質より量”の政策で、作付激減した太郎兵衛もちも再認識されて作付が広がった。

## 41. シラコバトの放鳥

傷や巣から落下したシラコバトの幼鳥は、桜井小学校の鳥小屋で治療し、児童たちで放鳥した。原先生（文化財調査委員）の指導。